

『小学生のためのエコ学習トランク教室—第4回』報告書

■目的 21世紀を生きる子どもたちに、地球温暖化の現状と原因を伝え、温暖化防止の為に自分たちにできることを学んでもらう。又、参加した子ども達を通して、温暖化防止活動が家族全員に伝わることを期待し、「小学生のためのエコ学習トランク環境教室」を実施した。

■開催日

日時 2016年8月4日(木) 13:30~15:00

■会場 藤山小学校学童保育教室

■参加者 4~6年生 15名

■講師 溝田 忠人(お話)

名越 久美 (紙芝居)

殿河内 誠 (〇〇トランク)

■スタッフ 殿河内、太田、松井

■内容

(1) お話「うべのすてきなものをたくさんみつけよう」

身近な自然に面白い生き物や植物があること、自然にふれることの楽しさや面白さを知る。

(2) 紙芝居「いのちはつながっている」—生物多様性を考えよう!—

地球は、大昔から様々な生物がつながりあって生きてきた、それが人間のせいで絶滅するかもしれない、生物の多様性を守ることを知る。

(3) ビデオ「いのちはつながっている」

奄美大島の環境教育と食の連鎖のアニメーション

(4) 〇〇ボックス(生物多様性)

様々な動植物を描いたダンボールブロックを食物連鎖の階層別に積み上げる、積み上げたブロックを抜くと全体が壊れてしまうゲームをとおして生物多様性の必要性を学ぶ。

■感想・その他

(1) 動物や植物に関する質問やクイズに子どもたちが積極的に答えてくれるのを見て、子どもの自然に対する興味の深さが窺えた。

(2) アンケートでは、全員が「楽しかった」「まあまあ楽しかった」、「良く分った」「大体分った」と答えてくれ、我々の目的が達成されたと思う。

(3) 省エネの取組みについて、「実施している」「実行する」と答えた人が全体の62%あった。(別紙「エコ学習トランク環境教室アンケート結果」参照)

(4) 食の連鎖について楽しく理解できる〇〇ボックスは良かった。

■写真



写真-1 溝田先生のお話



写真-2 紙芝居



写真-3 食の連鎖ブロック完成



写真-4 最下層を抜くと食の連鎖が崩れる

以上